

講師プロフィール

三木 幸美さん

公益財団法人 とよなか国際交流協会



(ご参考)

1991年大阪出身。

フィリピンと日本のハーフとして大阪の被差別部落で生まれ、無戸籍・無国籍児から8歳で「日本人」となる。

大学生の頃からルーツをもつ子ども・若者と関わりはじめ、子ども～社会人までを対象にしたダンス教室を開講。若者支援事業コーディネータを経て2016年度より、公益財団法人とよなか国際交流協会職員となる。

「切り取らせない」言葉を発信することにこだわりをもち、講談社現代ビジネスでの執筆や講演、NHK・Eテレ『バリバラ』出演など多方面で発信を続けている。

以上

私からはじめる 私たちの多様性社会

(公財) とよなか国際交流協会 三木幸美

はじめに～今日の話の流れ～

— マイノリティって誰のこと？どこにいる？

私の個人的な暮らし、社会との接点

— 私の暮らす被差別部落、人々が大事にしていたこと

— マイクロアグレッションってなんだろう？

— 「ちがい」と「まちがい」を行き来して

社会が個人に求める「自立」とは

— 立場の弱さと覚悟の強さ、乗り越えるための自己責任論

実践と後悔と希望と実践と

— 何もしないこと、を後悔した日

— 寝た子を起こすな、という考え方

「わかる人」と「わかりたい人」を増やすこと

— 「困ったときに」つながるのが大事？

自分の力に気がつくための表現

— 自己表現としてのダンス、見られる怖さを「魅せる」までの道のり

人権を学び、誰の言葉も奪わないために